

かすみがうら市議会産業建設委員会会議録

平成29年5月11日 午後1時08分 開 議

出席委員

委員長	小座野 定 信
副委員長	佐 藤 文 雄
委員	矢 口 龍 人
委員	加 固 豊 治
委員	来 栖 丈 治

欠席委員

な し

委員外委員

な し

出席説明者

議会事務局長 前 島 嘉 美

出席書記名

議会事務局 青 山 哲 士

議 事 日 程

平成29年5月11日（木曜日）午後 1時08分 開 議

1. 開 会
2. 事 件
 - (1) 産業建設委員会視察研修について
 - (2) その他
3. 閉 会

開 議 午後 1時08分

○小座野定信委員長

どうも委員の皆様には、お忙しい中お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

ただいまの出席委員数は5名で会議の定足数に達しております。会議は成立いたしました。

それでは、ただいまから産業建設委員会を開催いたします。

初めに、書記を指名いたします。議会事務局青山哲士君を指名いたします。

本日の日程は、お手元に配付いたしました会議次第のとおりであります。

それでは、早速本日の日程事項に入ります。

産業建設委員会視察研修についてを議題としたいと思います。

前回の委員会におきまして、ご意見のありました視察先の候補地に関する資料をお手元に配付してございます。内容について、事務局のほうから説明いただきたいと思います。

事務局 青山哲士君。

○議会事務局（青山哲士君）

それでは、お手元に佐賀市バイオマス活用推進計画ともう一つ、「水とレインボープランのまち」長井市の新たな循環型まちづくりと賑わい創出構想という印刷物を配布させていただきました。これは、佐賀市のほうがインターネットで公表しているものになります。長井市のほうは、国土交通省のホームページにあったものをそのまま印刷してきました。

まず、佐賀市の事業について説明させていただきます。

平成26年7月に佐賀市バイオマス産業都市構想というのを策定しておりまして、平成28年、去年の8月に佐賀市清掃工場、いわゆるごみ処理施設において、売却可能な二酸化炭素分離回収という事業を始めております。また、ちょっと昔の件になってしまうんですが、21年10月は、ごみ処理センターで水汚泥堆肥化施設を稼働させ、堆肥の有料販売を行っていたり、おととしの10月に佐賀市環境基本計画というものを策定いたしまして、地球温暖化対策や循環農業社会の構築などを行っていくとのことでした。

佐賀市の人口なんですけど、4月末現在で23万4345人、もし佐賀市に行く場合ですが、茨城空港から福岡空港まで大体2時間程度で、空港から佐賀駅、電車で大体1時間程度のところに佐賀市役所と、あと佐賀駅周辺に佐賀清掃工場があるような形になります。

続いて、山形県長井市、レインボープランのほうなんですけど、レインボープランが始まったのが平成9年、家庭の生ごみをコンポストセンターというところで回収して、コンポストセンターでできた堆肥を地元農家に使っていただくという事業を行っているようです。事業主体はNPOがやっている

とのことでした。

[「これ生ごみだけ」と呼ぶ者あり]

○議会事務局（青山哲士君）

そうですね。今のところ生ごみだけです。

ちょっとお配りした資料なんですけど、この後、事業計画もちょっとまた含まれているものです。

戻りまして、ちょっと確認したところ、レインボープランに関する視察についても、NPOがやるとのことでした。

もし長井市に行く場合だと、バスでノンストップで行った場合4時間程度、休憩とか実際にしますと6時間ぐらいかかるのではないかと思います。

ちょっと駆け足になってしまったんですが、説明は以上になります。

○小座野定信委員長

ありがとうございました。

それでは、視察の候補地につきまして、皆様のご意見をいただきながら協議を進めていきたいと思っています。

挙手の上で発言をお願いしたいと思います。

矢口委員。

○矢口龍人委員

佐賀県のこのバイオマスというのは、水のその事業化したのがこれいつですか、平成24年ですか、もっと前のものなんですか、これ。これで見ると、下水道賞をもらったのが24年だから、きつともっと前、比較的古いタイプの事業なのかなというふうな感じがするんですけども、その辺のところは調査はしてあるんですか、事務局のほうで。ちょっと説明していただけますか。

○小座野定信委員長

事務局 青山哲士君

○議会事務局（青山哲士君）

バイオマス活用推進計画とあるんですが、いろんな事業が一体となったような資料になっています。先ほど説明した二酸化炭素の分離とかごみの熱による売電事業とか、あとコンポストの生ごみの堆肥化とか……

[「いつから始まったの」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

落ちついて、その売電は、その熱の利用しての、電気をつくっての売電、あとは二酸化炭素が排出ガスがほぼ空気中にばらまかないで、これとこれにしてこういうことをしていますというふうな説明のほうがわかりやすいんだよね。

お願いします。

○議会事務局（青山哲士君）

失礼しました。

活用推進計画自体は古くからあるものなのですが、一つ一つ別な事業になっている模様です。例えば先ほどの二酸化炭素、ごみを燃やしたときに発生する二酸化炭素を加工して売れるような事業……

○小座野定信委員長

それもハウス栽培に使ったり、また、そこから炭酸ガスを抽出して炭酸水で販売したりというふう

に言うとうわかりやすいかな。

○**議会事務局（青山哲士君）**

すみません、ありがとうございます。先ほどの委員長のとおりに、炭酸水も取り扱ってます。

○**小座野定信委員長**

前島局長。

○**議会事務局長（前島嘉美君）**

今のお話ですけれども、15ページをごらんいただきたいと思います。

15ページに平成26年度から具体的なプロジェクトが始まったということで、基本の計画は20年からということがございますけれども、この事業については26年からスタートしたというようなことで書かれております。先ほど委員長さんがちょっとお話ありましたように、農業のハウスであるとか微生物のバイオ、二酸化炭素利用事業者への供給というようなところで供給しているようなイメージでございます。

その次のページに事業の概要として、項目及び内容等について詳しく書いてございますので、ごらんをいただきたいと思います。

そういった形の事業でございます。

以上です。

○**小座野定信委員長**

ありがとうございます。

ほかにご質問。

私もつけ足しというのはおかしいんですが、これ提案したのは私なんですけれども、非常にこの排出ガスも有効に使うこと、そしてあと、二酸化炭素をふだん悪影響とされるものをハウス栽培に使って、またイチゴやそういうハウス栽培での大きな成果を上げているということも実質あるようであります。

佐藤委員。

○**佐藤文雄委員**

結構、佐賀の場合は、佐賀の清掃工場というか、一つの市というかね。市で運営をしているということになっていきますよね。だから、その中で総合的なことがやられているのかなというふうに思うんですが、この長井市のほうも同じようだけれども、長井市はNPOだという話ですが、このNPOというのはどういうふうな形で形成されているんですか、長井市は。

○**小座野定信委員長**

これ提案者の人からの説明してもらったほうがいいと思いますんで、提案者は誰。

〔「佐藤さん」と呼ぶ者あり〕

○**佐藤文雄委員**

提案したわけじゃない、長井市のレインボープランというのがあるというので、私はNPOがどうのこうのとかという、そういうところまでは理解していなかったから。ただ、生ごみを回収して、それを農業のほうに生かしているというのは非常にいいなと思ったんで、それがNPOという……

○**小座野定信委員長**

旧千代田衛生さんか、千代田カントリーの脇で。

○**佐藤文雄委員**

千代田衛生というのは、ごみ処理をやっている。

○小座野定信委員長

そう。知らなかったでしょう。それで、堆肥というか、豚とか牛とかの飼料としても、ただ難しいのが、塩分をなくすというのが難しいらしい。

○佐藤文雄委員

いずれにしてもNPOでやっているということ自体は私自身は知らなかったから、別に答えられなければ答えなくてもいいんだけど。NPOということまでは私わからなかったんで、ちょっと聞いてみたんですが、どうですか。

○小座野定信委員長

青山君。

○議会事務局（青山哲士君）

ちょっと視察の中身を、申し込みをするためにちょっと調べたところ、実際、市役所に視察申し込みをするのではなくて、NPO法人のほうに視察申し込みをしてくださいということでした。ちょっと電話をしてみたところ、説明もNPOさんがやられるということでした。すみません、どういうふうな形でNPOが形成されたかは、ごめんなさい、調べていないところです。

○小座野定信委員長

実績とかわかる、実績とかわかればちょっと説明してもらっていいですか。

○議会事務局（青山哲士君）

ごめんなさい、実績までは調べていないところです。

○佐藤文雄委員

もう少しいいですか。

○小座野定信委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

今の生ごみのほうは私が、自分自身は今、いわゆるバケツでね、EMでやっていて、生ごみは全く出してはいないんだけど、そういう取り組みというのは、家庭の中でできる人とできない人がいるんだけどね。土浦のほうは別に、生ごみという袋を用意して、それを別々に回収して、今、日立のセメントのほうで、今言ったバイオマスみたいな形でガス化しているんだよね。だから、そういうことがあるんで、全家庭が簡単にもし取り組めれば、それがこちらの農業の再生にも役に立てればなというふうに思ったんです。

もう一つは、この長井市のやつをちょっと見たら、結構総合的なところが見れるような感じするなと思ったんです。この今、公共交通システムみたいなものとかさ、こういうほかのものも含めて、視察ができそうな感じだなというふうに思ったんで。できればね、こういうところもいいかなと思ったんですが。

意見としてはね。

○小座野定信委員長

矢口委員。

○矢口龍人委員

この山形ですか、長井市の場合、地方創生の事業としてこれ取り扱っているんじゃないのかなという感じがするんですよね。ひと・まち、あるでしょう。

○小座野定信委員長

でも、創生はどこでもやっているよ。

矢口委員。

○矢口龍人委員

すごく新しい事業なんだよ、これね。でも 27 年からでしょう、これ。

○小座野定信委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

平成 9 年からレインボープランはスタートしているということですね。

○小座野定信委員長

前回、全体研修で行ったところ、これ生ごみ別にしてやっていたんだよな、九州でしたか、どこだったか。

[大木町ですよね] と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

単独でやっていて、町の真ん中に集めてやっている事業だったよな。

[「そうですね」 と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

だけれども、NPOではなかったけれども。

[「アスパラガスが 300 万になるという話だったでしょう」 と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

前回、佐藤さんは行けなかったんではか、出席しなかったんだな。

○佐藤文雄委員

そう。

何かこれこっちのほうがいろんな見れるなという感じがするんだよな、長井市。

○小座野定信委員長

前回やったんだ、佐藤さん、前回やっているんだよ、九州で。九州行ったときな……

[発言する者あり]

○小座野定信委員長

九州のこの今、大木町というのも行って……

○佐藤文雄委員

やっているというのは、そのバイオマスのね。

○小座野定信委員長

矢口委員。

○矢口龍人委員

いずれにしたって、かすみがうら市はバイオマス云々の話じゃないから、今。その視点がさ、どちらもこれ同じように処理方法の部分なだけけれども。でも、それしかないということ。

○小座野定信委員長

この佐賀市のやつは、その二酸化炭素を利用しているというやつを、すごくこれもいいなと思って見ているんですよ。このバイオマスというのはどうだろう、これはやっていると思う。もう今さら新しい、古いじゃなくて。だから、二酸化炭素を農業に取り入れたり、あと商品化したり。

佐藤委員。

○佐藤文雄副委員長

これ二酸化炭素利用事業者というのはどういう事業者を言うの。この上の二酸化炭素のこの温室とかなんていうのは、大体3割ぐらい、4割ぐらいの収益が上がるとは聞いているんだけど、これ何でしたか、事業者というの。二酸化炭素を使う事業者というの。

○小座野定信委員長

だから、この佐賀市で言うと農業だよな。ハウス栽培には大きな利点があると。ニラもいいし、ホウレンソウ、あとイチゴ、イチゴはすごい甘いのができるんだというやつだよ。佐賀のイチゴでしたか、ほのかでしたか。ほのかとか何とかという。

じゃ、賛否でやりますか。

では、ほかにご意見、ご要望等はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

それでは、ちょっと式次第からは外れてしまうんだけど、候補地について挙手で決めてもらうような形でちょっと諮ります。

それでは、これ2つありますけれども、当初ありました佐賀市バイオマス活用推進計画がいいと思う方の挙手をお願いします。

[賛成者挙手]

○矢口龍人委員

どっちもいいというような、いいような気がするけれどもね。

○小座野定信委員長

両方見ますか、じゃ。

○佐藤文雄委員

委員長一任で。どっちでもいいよ。

○小座野定信委員長

わかりました。ありがとうございます。

それでは、佐賀市バイオマス活用推進計画ということで、佐賀市のほうに決めさせていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

次に、日程につきまして、委員皆様のご都合と合わせまして、ご意見、ご要望等がありましたら、挙手の上ご意見をお願いいたします。

矢口委員。

○矢口龍人委員

ご意見、ご要望というか、私、6月30日から5日まではちょっといませんで、避けていただきたい。

[発言する者あり]

○佐藤文雄委員

いずれにしても1泊2日になってしまうのかな、基本的に。

○小座野定信委員長

今ちょっと、局長と青山君のほうと開会前に話をしていたんですけども、これ議員のゴルフ大会、あと11、12があつて、16、17にしても、17は休みですけども。考えると、21日以降というのは夏休み期間になって、非常に交通のほうも混んでくるのではないかという予想をしまして、できますれ

ば 19、20 日ぐらいで考えたいと思うんですが、いかがでしょうか。7 月 19、20 日。19、20 日ごろどうでしょう。

○佐藤文雄委員

7 月の。

○小座野定信委員長

19、20 日。

○来栖丈治委員

自分は構わないですけれども。13、14 でも。

○小座野定信委員長

13、14 でもいいですか。

○矢口龍人委員

13、14 でもいいよ。

○佐藤文雄副委員長

俺、19 の 20 がやっぱりだな。俺、金曜日はまずいから。

○小座野定信委員長

じゃ、19、20 日がいいですか、佐藤さん。

○佐藤文雄委員

19、20 日、だから、委員長一任で。

○小座野定信委員長

そうですか。

加固さん、どうですか。

○加固豊治委員

いいです。

○小座野定信委員長

いいですか。

来栖さんは。

○来栖丈治委員

いいです。

○小座野定信委員長

じゃ、19、20 で、局長、段取りお願いします。

それでは、皆さん、19、20 ということで日程のほうは決めさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

ほかにご意見、ご要望はございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小座野定信委員長

それでは、ただいまのご意見、ご要望等をもとに、今、候補地は一応、佐賀市ということにさせていただきます、また日程は 7 月 19、20 ということで決めさせていただきたいと思います。

また、当方の相手方の日程については、相手方の都合がありますので、佐藤さん、恐縮なんですけれども、日程の都合上、万が一 13、14 になったときにはご了承いただきたいと思います、ご勘弁いただきたいと思いますので、お願いいたします。できれば 19、20 日ということで、第 1 希望としてお願

いしてもらえればなというふうに思います。

なお、相手方のご都合も考慮した上、日程が決定されるわけですが、決定次第、皆様にご報告させていただきますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

次に、委員会会議録作成の件につきまして、委員長に一任願ひたいと思ひますが、よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小座野定信委員長

それでは、そのようにさせていただきます。

次に、その他でございますが、何かございましたら。

来栖委員。

○来栖丈治委員

5月23から26、環境展ということで、ビッグサイトで、これは私のほうに案内が来ているのは、生ごみのコンポストを家庭で3つか4つ埋めて、順番にやっていると、分解されてというようなものなんですけれども、回しますので、見ていただいて、体が合えば、日帰り研修どうかなというような考え方です。

○小座野定信委員長

それでは、次回委員会に検討することといたします。

他にございますか。

それでは、ないようですので、以上で本日の産業建設委員会を散会といたします。

大変慎重な審議、ご苦勞さまでございました。ありがとうございました。

散 会 午後 1時40分

かすみがうら市議会委員会条例第30条の規定により署名する。

産業建設委員会委員長 小 座 野 定 信